



株主の皆さまへ

当期（第62期）の業績

株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第62期の事業活動をご報告申し上げます。

当社グループは、かねて予定していた持株会社体制に移行する一方で、新型コロナウイルス感染症拡大による経済の減速に対処すべく、あらゆる事業領域において厳しいコスト管理を徹底し、可能な限り手元流動性を確保することを優先しております。このためグループ全社で積極的なリモートワーク体制を導入し、市販出版物では、「スッと頭に入る」「トリセツ」シリーズ等の実用書ジャンルや家で楽しめるタイプの地図製品の品揃えを強化しながらも予定していた出版点数及び部数を市場ニーズに合わせて精査することで原価削減に努め、ソリューション事業では、景気動向に左右されにくい警察消防を含む官公庁・自治体向けの受注獲得や民間法人向けストック型商材の契約更新に注力する一方、アフターコロナのニーズにも注視し、現在深刻な影響を受けている観光産業を支援すべく、旅行者の旅先での関心事や行動について客観的な分析を可能にする新サービス『Travelers' Mind』をリリースいたしました。また、一部海外拠点の統廃合や現地アクティビティ施設における事業活動を必要最小限なものに留める等、固定費をできる限り圧縮する施策を実施してまいりました。

当期における業績は、大阪支社の土地建物売却による収益を計上したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、旅やお出かけの消費活動が著しく縮小・停滞する事態が継続し、特に主力の市販出版物の実売が甚大な影響を受けたことに加え、国境をまたぐ渡航が制限されたため、主に海外アクティビティ施設が事実上の営業休止状態を余儀なくされた結果、当社グループの売上高合計は、前連結会計年度に比べ17億60百万円減少し、63億13百万円となりました。

損益面では、あらゆる事業領域においてコスト管理を徹底し、売上原価、販売費及び一般管理費はともに前期に比べて減少したものの、ほぼ年度を通して市場縮小の影響を受け続けた売上の減少規模を補うには至らず、営業損失は14億48百万円（前連結会計年度は営業損失65百万円）、経常損失は14億15百万円（前連結会計年度は経常利益15百万円）となりました。

また、特別損失として、固定資産売却損50百万円、新型コロナウイルス感染症による損失72百万円、減損損失6億26百万円を計上いたしました。この結果、親会社株主に帰属する当期純損失は25億4百万円悪化し、23億74百万円となりました（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益1億29百万円）。

当期の配当

当期の剰余金の配当は、これまで配当予想を未定とさせていただいておりましたが、今回当期純損失を計上することとなったこと、加えて新型コロナウイルス感染症が、今後も当社の業績に影響を与えることが予想される状況であることから、手元流動性をできる限り確保しておくことを経営の最優先課題とさせていただき、利益配当金につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。株主の皆さまには、深くお詫び申し上げますとともに、早期に復配できるよう努めて参りますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

次期（第63期）の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が残ることが想定され、業績の急激な回復が見通せる段階ではなく、次期2022年3月期の業績予想については売上高70億90百万円（当連結会計年度比12.3%増加）、営業損失9億90百万円、経常損失9億50百万円、親会社株主に帰属する当期純損失9億70百万円を見込んでおります。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。



代表取締役社長

黒田 茂夫

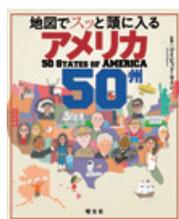
コロナ禍の下、巣ごもり需要に対応した商品群を迅速に展開(昭文社のトピックス)

●テーマ地図商品がヒット!

お家にいながらじっくり楽しめる商品が求められる中、コアなファン向けに企画したテーマ地図本がヒットしました。

『レールウェイマップル 全国鉄道地図帳』は現役全路線、全駅に加え、戦後75年の廃線情報を網羅的に盛り込んだことから人気を博し、主要書店で相次いで品切れとなるほどの売れ行きを記録しています。

『東京23区凸凹地図』は、東京スリパチ学会の監修の下、坂や窪地などのいわゆるスリパチ地形に着目、高低差を新たな地図意匠で表現した地図です。地形ブームの中こちらも好調な売れ行きとなっています。



●「スツと頭に入る」シリーズ「猫本」「スイーツ本」も人気

地図や図解でわかりやすく楽しく読める「スツと頭に入る」シリーズは歴史物や世界にジャンルを広げております。特に『地図でスツと頭に入る アメリカ50州』は、話題が沸騰したアメリカ大統領選挙に合わせ出版したことから増刷を重ね、一大ヒット商品となりました。

当社グループの代表的な旅行雑誌シリーズ「まっがる」と「猫」との異例のコラボで話題となった「ねこ旅」企画本『にゃっがる』は、予約段階で増刷が決定。SNSや報道でも取り上げられました。

2019年の『プリン本』より始まりました「スイーツ本」シリーズも当年度、更に充実を見せました。『チョコミント本』『ゼリー本』『チーズケーキ本』『いちご本』『抹茶本』『フルーツサンド本』を続々と刊行、ニッチなファンに支えられ、安定したご支持をいただいています。

●「トリセツ」シリーズは累計25都道府県を発行、依然好調

昨年度も好調でした都道府県の初耳、トリビアに迫るマップエンターテインメント企画本「トリセツ」シリーズは今年度も引き続き大好評で、この5月までに25点を刊行しました。

これまで刊行したほとんどの都道府県において主要書店のランキング入りを果たし、地元メディアで紹介されることも多く、「地元のを再発見できた」「引越したばかりでとても役立った」「おかげで家族や友人・知人との会話が弾んだ」といった声を頂戴しています。



デジタル事業分野も新たな時代のニーズに応えるサービスを展開(マップルのトピックス)

●サーマルカメラ

新型コロナウイルス感染症の影響で、体温測定可能なサーマルカメラの需要が増大する中、2020年7月より業務提携先商品の提供を開始しました。AI顔認証技術による出退勤管理などを含めた提案や、これまで培ってきました自治体や企業との防災、認知症対策などの取り組みをご評価いただき、学校などの公共施設をはじめ各所で導入していただいています。



No.	登録年月	ID	名称	料定	検定	検定	検定
1	2021/09/08/00	100	東京都	OK	35.4	25.1	
2	2021/09/08/02	131	東京都	NG	37.1	25.1	
3	2021/09/08/03	95	大村二	OK	35.5	25.1	
4	2021/09/08/06	151	松戸正	NG	37.5	25.1	
5	2021/09/08/08	45	海防	OK	36.4	25.1	
6	2021/09/08/10	30	船橋	OK	36.4	25.1	
7	2021/09/08/12	50	中野	OK	36.4	25.1	
8	2021/09/08/15	125	大塚	OK	36.4	25.1	
9	2021/09/08/14	104	戸田	OK	36.1	25.1	
10	2021/09/08/16	34	船橋	OK	35.2	25.1	

●配走ヘルパー



業務用カーナビにおいて顧客要望の強い「走行軌跡から作成したコースの案内」機能を備えた『配走ヘルパー』は、コストと導入負荷を大幅に軽減する業務用カーナビシステムです。

実際の走行ルートを簡単に登録し案内できる機能は、ドライバー不足に悩む業界事情に配慮したもの。新任ドライバーがすぐに業務を引き継げる工夫が業界紙からも注目されました。

物流分野における技術革新には今後も積極的に取り組んでまいります。

●Travelers' Mind

旅行ガイドブックの付録アプリ「まっがるリンク」から得られた旅行者の観光地における行動意向を客観的・定量的に分析することで、各地域が持つ観光地としての特徴や魅力、周辺地域との違いや課題などを浮き彫りにするサービスが「トラベラーズマインド」です。

グループの資産を最大限活用し、新型コロナウイルス感染症の拡大によって甚大な影響を受けている観光関連産業・自治体の支援に努めてまいります。



- ▶ PR展開
- ▶ インフラ整備
- ▶ イベント企画
- ▶ その他

連結財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第61期	第62期
	2020年3月31日現在	2021年3月31日現在
資産の部		
流動資産	9,736	7,847
固定資産	9,081	9,024
有形固定資産	5,483	5,275
無形固定資産	508	151
投資その他の資産	3,089	3,598
資産合計	18,817	16,872
負債の部		
流動負債	2,882	2,644
固定負債	722	940
負債合計	3,605	3,585
純資産の部		
株主資本	14,779	12,405
資本金	10,141	10,141
資本剰余金	4,168	4,168
利益剰余金	470	△ 1,904
自己株式	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	433	881
純資産合計	15,212	13,286
負債純資産合計	18,817	16,872

連結貸借対照表のポイント

流動資産

売上高が減少したことに伴い現金及び預金が3億41百万円、受取手形及び売掛金が7億8百万円、市販出版物の評価額を見直したことなどにより商品及び製品が5億19百万円それぞれ減少し、流動資産は18億88百万円減少の78億47百万円となりました。

固定資産

有形固定資産は本社及び制作本部の空調交換や埼玉製本センターの改修工事を行ったものの、償却の進行に加え、子会社の土地建物を譲渡した影響を受け、2億7百万円減少し52億75百万円となりました。

無形固定資産は、子会社の減損損失を計上したことにより、ソフトウェアが2億43百万円、のれんが1億13百万円減少した結果、1億51百万円となりました。

投資その他の資産は、投資有価証券が4億58百万円増加したことにより、35億98百万円となりました。

以上から固定資産は56百万円減少し、90億24百万円となりました。総資産は19億45百万円減少し、168億72百万円となりました。

負債

売上高の減少の影響により返品調整引当金が1億76百万円減少した一方で、繰延税金負債が2億10百万円増加したことにより、負債は19百万円減少の35億85百万円となりました。

純資産

当期純損失の計上によって、利益剰余金が23億74百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が3億86百万円増加したことにより、純資産は19億25百万円減少し、132億86百万円となりました。

自己資本比率

自己資本比率は2.1ポイント減少し78.7%となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第61期	第62期
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上高	8,073	6,313
売上原価	5,263	5,068
返品調整引当金繰入差額	△ 19	△ 176
売上総利益	2,830	1,421
販売費及び一般管理費	2,896	2,870
営業損失(△)	△ 65	△ 1,448
営業外収益	103	113
営業外費用	22	79
経常利益又は経常損失(△)	15	△ 1,415
特別利益	188	20
特別損失	37	794
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	166	△ 2,189
法人税等合計	36	184
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	129	△ 2,374

連結損益計算書のポイント

大阪支社土地建物の売却による売上を計上したものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、他セグメントの売上高が大幅に減少した結果、売上高は前年同期比21.8%減少し、63億13百万円となりました。

利益面では、コスト管理の徹底による売上原価の減少、売上減少に伴う返品調整引当金繰入額の減少があったものの売上高の大幅な減少を補えず、営業損失は14億48百万円(前年同期は営業損失65百万円)、経常損失は14億15百万円(前年同期は経常利益15百万円)となりました。これにより、特別損失として減損損失6億26百万円を計上することとなりました。この結果、親会社株主に帰属する当期純損失は、23億74百万円(前年同期は、親会社株主に帰属する当期純利益1億29百万円)となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	第61期	第62期
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 540	39
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 332	△ 386
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 0	△ 0
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 875	△ 341
現金及び現金同等物の 期首残高	5,845	4,970
現金及び現金同等物の 期末残高	4,970	4,629

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるキャッシュ・フローは、39百万円の収入となりました。主な要因は税金等調整前当期純損失を21億89百万円計上した一方で減損損失6億26百万円、売上債権の減少額7億8百万円、たな卸資産の減少額7億94百万円があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億86百万円の支出となりました。主な要因は有形固定資産の売却による収入が95百万円あった一方で、有形固定資産取得による支出2億45百万円、無形固定資産の取得による支出2億50百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、0百万円の支出となりました。

会社情報 (2021年4月1日現在)

会社概要

商号	株式会社昭文社ホールディングス (Shobunsha Holdings, Inc)
創業	1960年5月
本社所在地	東京都千代田区麹町三丁目1番地
資本金	101億41百万円
従業員数	単体32人、連結312人
本社	東京都千代田区
制作本部	東京都江東区
事業所	東京商品センター 東京都足立区 大阪商品センター 大阪府摂津市 埼玉製本センター 埼玉県加須市

役員 (2021年6月29日現在)

代表取締役社長	黒田 茂夫
取締役	上原 嗣則
取締役	清水 康史
取締役	加藤 弘之
取締役 監査等委員	飯塚 新真
取締役 監査等委員	※ 関 聡介
取締役 監査等委員	※ 桑野 雄一郎

※社外取締役

子会社

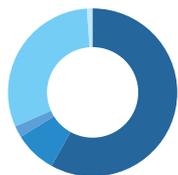
株式会社昭文社	東京都千代田区
株式会社マップル	東京都千代田区
株式会社MEGURU	東京都千代田区
株式会社マップル・オン	東京都千代田区
株式会社昭文社クリエイティブ	千葉県市原市
株式会社Kuqulu	東京都千代田区

株式情報 (2021年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式の総数	18,178,173株
株主数	21,072名

所有者別株式分布状況



所有者区分	持株比率 (%)
個人・その他・自己名義	58.1
金融機関	8.1
外国法人等	2.3
その他の法人	30.6
金融商品取引業者	0.9

大株主 (自己株式を除く上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率 (%)
黒田 敏夫	3,574	19.66
黒田 茂夫	1,700	9.35
株式会社エムティーアイ	1,688	9.29
株式会社MGSHD	1,674	9.21
SPSHD株式会社	1,673	9.20
日本カストディ銀行株式会社 (信託口)	649	3.57
昭文社ホールディングス社員持株会	295	1.62
株式会社三井住友銀行	250	1.37
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	239	1.31
DFA INVESTMENT TRUST COMPANY- JAPANESE SMALL COMPANY SERIES	217	1.19

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日 (中間配当を行う場合)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	
公告方法	電子公告 公告掲載URL https://www.mapple.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	9475

お知らせ

- 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきまして、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

第62期定時株主総会の決議について

当社第62期定時株主総会の決議結果につきまして、当社ホームページ (アドレス <https://www.mapple.co.jp/>) に掲載いたしておりますので、ご高覧くださいますようお願い申し上げます。

期末配当金について

すでにご高覧いただいていることと存じますが、2021年5月14日に公表しました「剰余金の配当 (無配) に関するお知らせ」のとおり、第62期期末配当金は、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

※株主優待は同封の案内書類をご参照ください。

表紙の写真

表紙右上の写真は、世界自然遺産候補の奄美・加計呂麻島「於斉 (おさい) のガジュマル」(鹿児島県) (当社編集部所属カメラマンが撮影した写真を使用しました)